

市民活動状況
(12月末日現在)

市内NPO法人数	32 団体
当センター登録団体数	149 団体
当センター登録会員数	6,466人
来館者数	1,295人
印刷機利用枚数	10,375枚

ひびき

発行枚数 650枚 メール配信 100団体

発行人 指定管理者NPO法人茨城県南生活者ネット 龍ヶ崎市市民活動センター長 島村宏之



龍ヶ崎市市民活動センターは社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。
 会議スペース・作業スペース・印刷機・紙折り機・パソコン・多目的室等(1階)や
 大会議室・小会議室・パソコン室・和室・工作室(2階)・陶芸室(1階外倉庫隣り)がご利用いただけます。
 開館時間 = 午前9時～午後7時(日曜祝日は午後5時まで)2階各室は夜間も(午後10時まで)利用可能です。
 休館日 = 月曜日および年末年始、特別に定める日
 〒301-0004 龍ヶ崎市馴馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571
 E-mail r-suwan@titan.ocn.ne.jp URL https://ryugasaki-shiminkatsudo.net



市民団体活動紹介シリーズ No.17「へバラキ」

目指せ！市民活動日本一

—韓国語を通して韓国の文化にふれる会—

「へバラキ」という会の名前は韓国語で「ひまわり」のことです。私たちが住んでいる茨城(いばらき)と似ているので、先生が付けてくれました。私たちは韓国語を通して韓国の文化にふれて、韓流ドラマの話をしたり、韓国料理を会食したり、ワイワイと楽しくおしゃべりしながら、第1、第3金曜日の午前10時～12時、月2回、韓国の金智淑(キム ジ スク)先生に習って活動しています。現在、会員は8名です。

会の始まりは、第1次韓流ブームをきっかけに、言葉を学ぶだけでなく、一緒に韓国旅行に行き、実際に韓国文化にふれて、より理解を深めてきました。勉強という感じではなく、いつも楽しく日々の生活から韓国ではどうですか?とか。これを韓国語では何と言っているのかなとか、おしゃべりを通して韓国を知ることが出来ます。

韓国語を学んでみたいと思っている方、普通におしゃべり友だちになりたい方、ご参加をお待ちしています。



りゅうがさき市民活動フェアinサプラスクエア サプラ2023開催のご案内

りゅうがさき市民活動フェアinサプラスクエア サプラ2023

日時:2月18日(土)19日(日)11時～16時

会場:ショッピングセンターサプラ

フェスタコート・光のモール(1階サプラモール)

今年の市民活動フェアは久しぶりに2日間、ステージ発表が開催されます。地域の担い手として活躍している市民活動団体や高校生の活動を一堂に会して紹介します。

パネル展示をはじめステージ発表(楽器演奏・歌・ダンス等)や活動体験・福祉団体による手づくり品の販売コーナーなど盛り沢山です。高校のチアリーディング部、吹奏楽部、ダンス部の発表もあります。

ぜひ、2月の18日、19日はサプラスクエアにお出かけください!



講座のお知らせ

1. 新企画講座「龍ヶ崎の魅力発見—るみちゃん散歩プレイバック—」

令和5年2月5日(日)午後1時30分～午後3時30分

市民活動センター2階 パソコン室 定員25名

講師:まつど観光大使、元龍ヶ崎ふるさと大使 石上 瑠美子氏

2. 市民活動支援の紹介講座「クラウドファンディング経験者と活用検討中の方々との交流会」

令和5年2月12日(日)午後1時30分～午後3時30分

市民活動センター2階 大会議室 定員20名

講師:(株)クラウドファンディングデザイン(代)渡邊 ゆりか氏

3. 「NPO法人設立説明会」

令和5年2月15日(水)午後1時30分～午後3時30分

市民活動センター2階 パソコン室 対面:定員20名+オンライン参加

講師:認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ、茨城県女性活躍・県民協働課

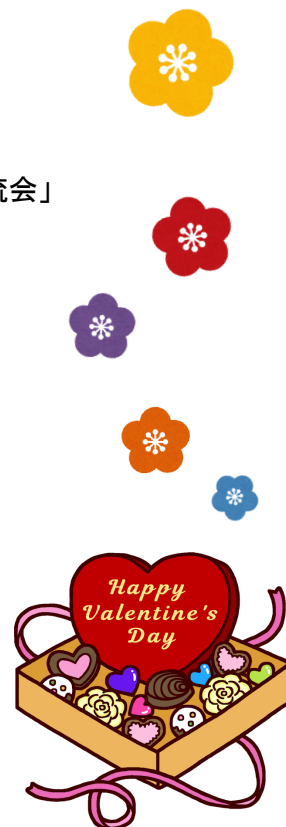
4. 「市民活動団体マネジメント講座—想いを伝え活動を広めるPRの工夫」

令和5年2月26日(日)午後1時30分～午後4時

市民活動センター2階 大会議室 定員20名

講師:認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ事務局長 大野 寛(さとし)氏

1～3: 受付中 4: 2/10～受付開始



龍ヶ崎ストーリー第13回「小野瀬忠兵衛」

江戸時代の後半、筑波山麓北条より新助と名乗る男が龍ヶ崎にやって来ます。そして当時の必需品である筆墨(ひつぼく)や米穀の商いをはじめ30代で財を築きました。具体的な年代は不明ですが天保年間(1830-44)と考えられます。

文久2年(1862)天王社(龍ヶ崎鎮守八坂神社)の寄進名簿に、小野瀬新助名義の多額の寄進が記録されていて、これにより小野瀬という名字が許されていたことが分かります。もしかすると帯刀も…。当時町人が名字を許されるのは特別で、どのような経緯だったかは想像するしかありません。新助はその後忠兵衛と名乗り、昭和まで続く小野瀬忠兵衛商店の礎となります。

明治になり、三代目忠兵衛は、干鰯(ほしか=鰯を乾燥させた肥料)と塩の専売で財をなし、明治39年(1906)龍ヶ崎農商銀行の創立発起人を務めました。

五代目忠兵衛(明治32年(1899) - 昭和52年(1977))は会社経営等実業家であるとともに、戦後衆議院議員を3期務め、政財界で活躍し龍ヶ崎の発展に尽力しました。その功績により黄綬褒章と紺綬褒章を受章しております。

市街地上町に明治初期建築の小野瀬忠兵衛商店の店舗と住宅が現存します。建物と敷地は人手に渡り、平成16年(2004)現所有者の申請により龍ヶ崎で初の国登録有形文化財となりました。



旧小野瀬忠兵衛商店

龍ヶ崎短歌会

ダイニングの窓いっぱいの大銀杏遠近に見える黄のまぶしさよ

小嶋 知葉

息子よりの電話 元氣かに気付きたり今日は生れ日八十五歳

岡田 さち子